

白石川右岸河川敷整備 (コラボ事業) の取組みについて

R3.2.12
大河原土木事務所
河川砂防第二班

○事業の経緯・概要

大河原町では、仙南地域の重要な観光資源である一目千本桜（白石川河川敷桜堤）を活かした地域づくりを図るため、一目千本桜の上流部に位置する「大河原大橋」から「JR東北本線神谷踏切」までの約2.8kmを対象区間として、平成29年度から「白石川右岸河川敷整備・利活用検討」の取組を開始した。

県では、大河原町が取り組む、「白石川を活かした地域づくり」を支援するため、平成30年度から生活密着型社会資本整備事業(コラボ事業)に着手したところであり、今年度は、高水敷造成や堤防舗装工事等を予定している。今後も引き続き、町と連携して、事業を推進していく。

○町と県の役割

【町】・多目的広場，駐車場

トイレ

- ・サイクリング・ウォーキングロード
(堤防舗装) L=600m

【県】・区域全体の敷地造成

- ・サイクリング・ウォーキングロード
(堤防舗装) L=2,150m
- ・親水(階段)護岸

白石川右岸堤防のサイクリング・ウォーキングロード
親水広場（駐車場）のイメージ



○これまでの取組と今後の予定

年度	県	町
令和元年度まで	<ul style="list-style-type: none">・現地測量、親水護岸設計 一式・支障木伐採 (L=300m A=2,500m²)	<ul style="list-style-type: none">・土地利用検討・基本設計、検討委員会(4回)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none">・堤防舗装工事 (L=1,350m A=5,600m²)・支障木伐採 (L=760m A=48,300m²)・高水敷整備工事 (L=2,000m V=35,000m³)	<ul style="list-style-type: none">・堤防舗装工事(L=600m A=2,400m²)・実施設計、用地取得 (駐車場・トイレ整備)
令和3年度 (予定)	<ul style="list-style-type: none">・堤防舗装工事 (L=800m A=3,200m²)・親水護岸工事 L=50m	<ul style="list-style-type: none">・駐車場・トイレ整備工事 一式・実施設計 (多目的広場等)

- ・当面は、大河原大橋付近のエントランスゾーン（駐車場，多目的広場，トイレ）とサイクリング・ウォーキングロード（堤防舗装）の整備を実施。（R4以降の取組みは町で検討中）

R3.2.12現在

